



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 5 月 31 日(月)  
ついに完成！シーニックデッキ登場 編

嫁見祭り開催を 2 日後に控えたこの日は、爽やかな青空の広がる絶好の作業日和。予定通りウッディさんのトラックが日吉神社境内に到着しました。

風景街道セミナーやのしろまちづくりフォーラムで東大の堀先生から教えていただいた「シーニックデッキ」。常盤や手這坂の景色の良いところやイベント会場の一角に、おもてなしの「場」を自分たちで手軽につくることができないだろうか。そんな発想から、現場でその日に組み立て・解体ができる秋田スギ製のウッドデッキ 8 畳分をウッディさんにお願しました。佐々木先生と図面や金具を何度か検討し、ひとつき余りで完成。この日を迎えました。

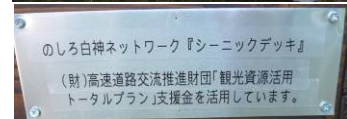
設置場所が思っていた以上に傾斜していたため水平を取るのに時間を要し、脚となる金具に工夫が必要なが判明しましたが、それを除けば当初の目論見通り、工具も使わずにデッキの設置ができました。

新しいテーブルをのせてパラソルを広げると、新緑と木漏れ日が一層雰囲気盛り上げてくれます。お祭り当日も今日のようなお天気だといいですね。

文： 渡辺 千明



組み立てしやすいように、半分ずつに分けられたパーツを設置場所にクレーンで下ろします。



とても手作りとは思えない出来映えの表示パネルを製作者自らが取り付けました。

### ■シーニックデッキのできるまで



キット半分から柵目状の枠4つを並べ、それぞれを連結するように15箇所に脚金具を設置し、全体が水平となるよう調節します。

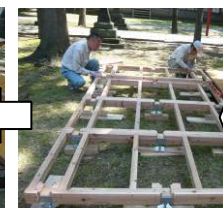
金具を引っ掛けて4辺に枠板をつけていきま。金具と枠の箇所が番号で指定されてます。



東北風景街道初のシーニックデッキ完成！



同じように外側に枠板をつけたら、床板を端からはめ込んでいきます。



残り半分のキットの枠と脚金具を先ほどと同じように設置していきます。



上から床板4枚をはめ込んでいきます。